

一般社団法人日本国際看護学会 第8回研究分科会報告書

記述日：2024年8月31日

ブロック名	4ブロック共同主催	報告委員	松永早苗、桑野紀子、 マルティネス真喜子、土谷ちひろ	
実施日時	2024年8月24日（土） 10:00～16:00		実施場所	オンライン講義
テーマ	M-GTAによる質的研究のコツ		講師	橋本友美先生
			所属	医療創生大学
参加者	計 8人（会員7名、非会員3名）			

第8回研究分科会のテーマは、質的研究法の一つであるM-GTAについて学ぶ機会を企画した。午前中は、講師から質的研究の特徴やグランデットセオリーに種類があり、M-GTAの特性について丁寧な説明を受けた。午後からは、参加者は、ワーク用の事例を用いてインタビューガイドの作成やデータ分析を個人ワークやグループワークにて体験し、参加者全員で共有した。M-GTAの分析や言葉の選択など難しさもあったが、講義やワークを通して講師が参加者からの質問に応答下さり、参加者はM-GTAの一連のプロセスを体験することができた。

分科会終了後のアンケートでは、講義の理解度が「まあまあ理解できた、理解できた」であり、「M-GTAを改めて学ばせていただき、曖昧になっていた点や知らなかった部分もあり、今回研究分科会に参加することができてよかった。」や「M-GTAの手法について、理解が深まった。」との意見があった。グループワークの感想は、「グループでの共有の場があり、具体的な考え方を聞くことができて、思考の幅が広がった。」や「自分の凝り固まった考えが解かれたようなグループワークとなった。一緒に参加された方から、多くのことを学ばせていただいた。」との意見があった。分科会の時間配分においても、「まあまあ適切であった、適切であった」であり、1日に集中した会ではあったが、参加者の満足度が高かったと考える。

今後も会員が研究を推進していけるよう、研究分科会の企画を実施していく。

